

のびのび



2019年度校長室だより 第6号 令和元年11月1日

湯田小学校のキャッチフレーズ：あしたも会おうね 温かい学校 ～ 学び合い ～	
2019年度チャレンジ目標：湯田小ABC	合い言葉：やさしい言葉

本年度上半期を振り返って

校長 伊藤 豊

平成29年度末に各戸に配付されている「湯田小中連携カリキュラム」の活用はいかがでしょうか。そこには、7つのキャッチフレーズに沿った、育ちや学びにおける共通実践目標が示されています。本年度も折り返しの時期になりましたので、児童の様子を振り返ってみたいと思います。

(あいさつ)にっこり笑って あいさつします

本年度は、児童の落ち着いたスタートを祈念して、毎朝児童昇降口付近でのあいさつ運動を続けています。元気よく・気持ちのよいあいさつが交わせることを第一に考えつつ、児童から進んであいさつができるようにと願っているところです。児童の状況は、まだ満足はできません。

しかし、学校以外で出会った時に、わざわざあいさつをするために近寄ってくる児童も増えてきました。これはうれしいことです。おそらく保護者の皆様の助言あつてのことだと思えます。保護者の声かけは、やはり頼れる力です。

(身だしなみ)身だしなみ さわやか 元気です

通学時の身だしなみは、ほぼできていると言ってよいと思います。時折見かける名札無し、シャツの裾出しも、一声かければすぐ整います。がんばっています。これから冬季の服装に替わっていきますので、引き続き心がけてほしいものです。

(時間)規則正しく 明るく生活します

校内での時間の切り替え、気持ちの切り替えは、多くの児童が心がけています。ただし、朝の登校時刻が守れていない児童が固定化しています。体調やその他の事情で遅れたりお休みの際は、8:10の登校完了時刻までに学校へご一報いただきたいと思えます。毎朝、授業開始時刻ぎりぎりまで教職員が手分けして安否確認を行っている状況ですので、ぜひともご協力願います。

(掃除)黙ってお掃除 心をみがきます

中学年以上の児童はがんばっています。高学年になると、取りかかりがとても早く、その分長い時間活動ができます。低学年児童は、とにかくその時間は少しでも黙って活動する習慣をつかってほしいと願います。児童の姿を見ると、学年に関わらず「ぞうきん絞り」の経験が不足しているように思えます。この点はご家庭でもしっかり経験させてやってください。

(人間関係づくり)相手に自分の思いを伝えます

学年があがるにつれて、自分の役割に気づき下級生のために役割を果たす姿が多く見られるようになりました。いつも「やさしい言葉」が使える児童がいます。すばらしいことです。

しかし、未だに学校のきまりが理解できず、多くの人に心配をかける児童や言葉で友だちを傷つけてしまう児童がみられます。学校生活以外でも、家族団らんの会話、地域の人々との温かいふれあいが児童の気持ちを「やわらかくふわふわ」にしてくれるものと信じています。

あいさつ	湯田の子は にっこり笑って あいさつします
身だしなみ	湯田の子は 身だしなみ さわやか 元気です
時間	湯田の子は 規則正しく 明るく 生活します
掃除	湯田の子は 黙ってお掃除 心をみがきます
人間関係づくり	湯田の子は 相手に自分の思いを伝えます
家庭学習	湯田の子は きちんと宿題をやっています
将来の展望	湯田の子は 志高く 夢をもち ふるさとへ

湯田中学校区小中合同学校運営協議会

(家庭学習)きちんと宿題をやっています

学年×10分間を基本としていますが、定着していますでしょうか？高学年になると、家庭学習として、「自主学習」(自学)にも取り組んでいます。私も内容を見ることがありますが、この時期になると個人差が出ています。春からコツコツと取り組んできた児童の自学はとても充実しています。自分から課題を見つける力が身についています。一方で、最低限の宿題さえままならない児童も散見されます。授業中の態度と家庭学習の充実度は、割と比例関係にあるように感じます。つまり、授業に集中できる児童は、家庭学習も充実していることになります。よい習慣は、早い内に身に付けるに限ります。児童が家庭学習に取り組んでいる姿の価値付けをよろしくお願いします。

(将来の展望)志高く 夢をもち ふるさとへ

低学年は「自分のよさや得意なことをみつける」、中学年は「自分のよさや得意なことを伸ばそうとする」、高学年は「自分の長所を伸ばし、短所を改善しようとする」と、カリキュラムには段階的に示してあります。児童に見られがちなこととして、他者と比較して自分を評価することです。「〇〇さんはできるのに、自分はできない」「〇〇さんよりは順番が上」といった調子です。周りの集団が替わってしまったら、この尺度は全く役に立たなくなってしまう。大切なのは、自分の目標です。自分が目指す姿に比べて今どの段階にあるのか。自分は今のままで満足できるのか。こうした見方は、小学生自身にはなかなか難しいことです。それには、ご家庭での「誉め言葉」が鍵を握っています。「〇〇ができるようになったね」「〇〇しているあなたはがんばっているね」といった、児童の成長を価値づけていくことです。先日、高学年児童がミシンを使う場面で地域の方に支援してもらいました。家庭科室から聞こえてきたのは、地域の方の「上手になったね」「ここはよく縫えているね」「進んで片付けているね」といった誉め言葉でした。地域の方は、目の前のありのままの姿を誉めてくださいました。「〇〇できたら、あれを買ってあげる」といったことは、やがて児童に通じなくなります。大切な児童の自立心を養うには、もっと慎重に接していく必要があります。「毎日一誉め」をご家庭で実践してみられませんか。



いよいよ授業公開です



来る11月7日(木)は、第31回中国地区学校図書館研究大会山口大会の初日、本校の授業公開日です。「『主体的・対話的で深い学び』を充実させる学校図書館活用の方法」をテーマに掲げて、様々に研修を重ねてきました。全ての学年で授業研究に取り組みながら、学校図書館を活用することで児童の学びに与える効果を探ってきました。

こうした研究成果をいかして、当日は、3学年の実践を公開します。1-3藤村亜希子教諭は、国語科の授業を行います。たくさんの昔話にふれさせながら授業を展開します。4-3小松原 徹教諭は、保健の授業を行います。課題を解決するためにたくさんの書物から必要な事柄を調べていく学習です。5-2油利浩志教諭は、国語科の授業を公開します。主たる物語の人物像を探るために、並行して別の物語を読み進めていきます。それぞれの学年では、事前に同様の学習を実践しながら、中国地方5県の参加者が、自校に持ち帰って実践したくなるヒントがまった授業を準備してきたつもりです。当日は、3人の授業者に本校の研究を代表して発信してもらい、成果を問いたいと考えています。この日は、本校学校運営協議会の皆様にもご案内し、学習指導の取組に関するご意見をいただく予定にしています。保護者の皆様には、下校時刻の変更に伴い、ご配慮いただくこととなります。ご迷惑をおかけしますがご協力をお願いします。



〔児童下校時刻〕※別紙にて既にお知らせ済み

授業公開学級(1-3、4-3、5-2)14:40、 他は12:50

